

高陽開発株式会社(2021年12月入社)

山村 亮博さん

2021年10月~11月

第1回 土木技能者入職支援コース
受講

訓練修了者×採用担当者

TALK SESSION

訓練修了者採用企業に聞きました。

森林土木工事や治山工事、地滑り防止林道工事をはじめ、透明度の高さで知られる仁淀川の堤防の維持・管理などを行っている高陽開発株式会社では、短期資格等習得コースの修了生を受入れています。今回、取材した山村亮博さん(47)も2021年10月~11月に訓練を受講後、同社に入社し、活躍している一人です。そんな山村さんに受講のきっかけや訓練の様子を語っていただきました。

生まれ故郷で働くために、短期資格等習得コースの受講を決意!

新型コロナがきっかけで
タイから帰国、地元・高知市へ

—訓練を知ったきっかけはなんですか?

約15年間タイで働いていましたが新型コロナの感染拡大を機に帰国しました。その後、日本での就職活動を考え始めたタイミングで短期資格等習得コースを偶然見ているテレビCMで知り、受講を決めました。

—日本で働こうと決めた理由はなんですか?

親が高知市にいますので、将来的には近くに住むことを決めていました。そんななか、タイでも新型コロナが感染拡大していて、仕事での先行きが見えなかったこともあり、帰国するにはよい機会と前向きに捉え、地元で働くことを決めて高知市に移り住みました。

—一次の仕事に建設業を選んだのはなぜですか?

理由は、もともと建築業界にいたこともあって、以前から建設の仕事に隣で見ていて興味があったというのが大きいですね。また、実家の近くに住むことを前提に考えていたので、建設業でも



道路のパトロールからデスクワークまで幅広く活躍している山村さん

地元の建設会社に就職しようと考えていました。

—まさに希望通りに就職できたんですね。
現在の仕事内容は?

当社では道路維持のパトロールを請け負っていて、私は週2回、担当路線の見回りや簡単な修繕作業、報告書作成などを行なっています。わかりやすく言うと、走行に支障が出るような落下物や倒木を除去したり、舗装が壊れて穴が空いているのを修復したり、また動物の死骸などの回収もしています。そのほかにも、デスクワークだと積算

業務や人事採用業務を担当しています。

さまざまな職歴を持つ人たちから
たくさんの刺激をもらえた

—訓練のなかで印象に残っているカリキュラムは?

訓練が始まったばかりの頃に鉄筋型枠作業を3人一組で行うカリキュラムがあったのですが、私のチームは段取りから作業まで、みんなバラ

採用担当者の声



代表取締役

玉木 大祐さん

これまで訓練生を20名ほど採用し、現在も在籍している社員は少なくありません。まったくの未経験者から一級土木施工管理技士を取得した者や、県から受注した工事の主任技術者として活躍している者もいて大変助かっています。山村君も面接時から真面目さが伝わり、入社を願っていました。入社後は期待通りの働きぶり、現場仕事やデスクワークとがんばってくれています。まだ若いので、今後はさらに資格を活かした業務や、技術者として管理業務にあたるなど、いろんな道が開けていると思います。当社も彼の進む道を全力でサポートしていくつもりです。



取得した資格を活かして
地元を守る存在になりたい

バラなこととしてしまい大失敗しました。まだ知り合ったばかりでそれぞれが遠慮していたこともあって、チームワークの重要性を実感しました。

—その後、訓練生との連携は深まりましたか?

時間が経つにつれて距離が縮まりましたね。重機の操作について先に乗った人が後の人にアドバイスしたり、朝寝坊の常習者を仲間が電話で起こしてあげたりと、協力し合うようになっていったのが印象的でした。

—まさにチームワークですね。

そうですね。訓練生もさまざまな職歴を持った人たちが来ていて、前職に焼きとり屋を経営していた人もいれば、遺品整理の仕事をしていた人もいて、これまでまったく交わったことのない方々と話せたことも大きな刺激になりました。

訓練に参加することで
具体的な将来が見えてくる

—受講が業務に活かされていることは?

タイで建築の仕事をしていた当時、高所作業車を使って作業をしていました。タイは資格がいらず、無免許で乗っていましたが、自分がどれだけ

危険なことをしていたか、訓練を通して知ることができました。今は安全確認を怠ることはありません。

—今後の目標をお聞かせください。

近年は自然災害が多発していて、高知市も水害のリスクを抱えています。いざというときに「いてくれてよかった」そう言われる存在になれるように、取得した資格を活かしていきたいです。

—受講を検討している方にメッセージをお願いします。

いろんな立場や状況のなか、先行きに不安を感じている人は少なくないと思います。ですが、受講によって具体的な将来が見えてくるということもあります。私もそうでした。迷っているようなら、まずは一歩踏み出してみたいかがですか?

令和4年5月 高知県内で取材

夏場は雑草でガードレールや標識が見えづらくなるため草刈りも行う



現在募集中の
コースの詳細は、

17ページへ!